

令和5年度 第1回 くまもとサイエンスカフェ

白川水害と 水害シミュレーション

9/5 (火)
13:00-15:30

熊本県防災センター 1階会議室

(熊本県庁行政棟新館 北側)

共催：熊本大学・熊本県・熊本地方気象台

対象：どなたでも

参加
無料



話題提供 **松田博貴** (熊本大学理学部)
張浩 (熊本大学工学部)

阿蘇から熊本市に流れる白川では、422人もの死者・行方不明者を出した昭和28(1953)年の白川大水害以降もたびたび洪水が発生しています。立野ダム建設をはじめとする様々な治水対策が進められつつありますが、その一方で、気候変化の影響により海面水位の上昇、大雨の頻度の増加、熱帯低気圧の強度の増加などが予測されています。今回のサイエンスカフェでは白川の災害特性について自然科学的な視点からおさらいをするとともに、内外水氾濫、地下空間への浸水、津波・高潮災害などの仕組みと防災対策を水害シミュレーターを用いて学びます。



直感的に理解しやすい模型式の水害シミュレーター

くまもとサイエンスカフェとは？

お茶を飲みながらゆったりとした対話形式で、熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立て頂くことを目的とした取り組みです。



龍田陣内を中心に浸水した平成24年の白川氾濫

お申込み・お問い合わせ先

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
減災型社会システム部門

下記 Web ページか下の二次元コードからお申込み下さい。

<https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/disaster/>

お電話の場合は 096-342-3489 (平日 9:00-16:00)

締切り 9月4日 12:00 (ただし定員に達し次第締め切ります)

定員30名

お早めに!



熊大 減災センター



サイエンスカフェ年間スケジュールなど詳細はHPをご覧ください